

説 教

聖日礼拝 北浜チャーチ
2021年7月4日(日)

主 題：「ますます豊かになろう！」

—永遠の御国へ—

テキスト：第2ペテロの手紙1章10, 11節

はじめに

- ・詩篇42篇1節は、私の大好きな聖句の1つであり、賛美曲でもあります。
「鹿が谷川の流れを慕いあえぐように 神よ 私のたましいは あなたを慕いあえぎます。」
詩篇 42:1
- ・この詩はダビデ王が、主の恵みに対する熱心さを、「鹿が谷川の流れを慕いあえぐように 神よ 私のたましいは あなたを慕いあえぎます。」と表現したものです。ダビデが思い浮かべている地は、草木がない文字通りのユダの荒野です。イスラエルでは、その荒野に野生の鹿の群れが生息しています。
- ・ユダの荒野は砂漠のような地で、強い日照りと乾燥で喉が渇きます。彼らはいのちの水を求めて、谷と谷の間にあるわずかな川の水の所へと向かいます。野生の鹿の習性のひとつに、彼らは10数キロも離れた所に水源があることを察知する能力があると、聞いたことがあります。
- ・彼らは水がなければ、いのちを保つことはできないと自覚しています。ですから、荒野にある確かな水源へと向かうのです。
- ・皆さん。その姿は、創造神を信じるキリスト者が、たましいの渇きを求めて、生ける水を求める姿と重なります。鹿が水源のある所を知っているように、私たちキリスト者のたましいも、どこに水源があるか知っています。それはイエス・キリストのもとにあります。
- ・1章3節で、ペテロは次のようです。
1:3 私たちをご自身の栄光と栄誉によって召してくださった神を、私たちが知ったことにより、主イエスの、神としての御力は、いのちと敬虔をもたらすすべてのものを、私たちに与えました。
- ・神は、「いのちと敬虔」に関するすべての必要を備えておられます。そして主の恵みは尽きることがありません。主はそのように富むお方であることを知っているキリスト者は、その「いのちの水」である霊的豊かさを求めて、主の御前に出るものです。
- ・今日、私たちは主の祝福を求めて、神の前に向かいたいと思います。2点

大切なポイント

1. いっそう励みなさい

1:10 ですから、兄弟たち。自分たちの召しと選びを確かなものとするように、いっそう励みなさい。これらのことを行っているなら、決してつまずくことはありません。

1) 自力で励む人生ではない

- ここに「いっそう励みなさい。」という表現が出ています。私たちは「励む」とか「頑張る」という言葉を口にしますが、ストレス社会ではあまり歓迎されない言葉です。むしろ「あまり頑張りすぎないように」とか、「ありのままでもいいんだよ」と語りかけてくれる方に、心はなびくものです。
- 前にもお話しましたが、「良い頑張り」と「そうでない頑張り」があります。その違いを正しく見極めることは大切です。あまり大切でないことに頑張ると、すぐに息切れし疲れ果ててしまいます。しかし、聖書が教える頑張りとは、息切れしない頑張りのことです。
- では、なぜ息切れしないのでしょうか？ それは、神は、その頑張りを私たちだけに押し付けておられないからです。イエス・キリストがくびきを担ってくださるからです。マタイ福音書11章

11:29 わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。

11:30 わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」

- 皆さん！ 何という幸いではしょうか。私の悩み、思い違い、心配など、私が抱えて苦しむ必要はありません。イエスは「わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」と約束してくださいました。感謝します。

2) 「召し」と「選び」を確かにする人生

- この1章10節を注意して読むならば、「自分たちの召しと選びを確かなものとする」(1:10)ことが、勧められていることが分かります。
 - 「召し」とは、神が私たちをご自身のほうへ招いてくださっていることです。
 - 「選び」とは、神が私たちを救いに選んでくださったという事実です。
 - 私たちは「神に招かれ、救いに選ばれた」存在です。それは神がなされたわざですから、徹頭徹尾、神が先導されて完成してくださるものです。そして、その歩みのために必要な一切を、神は私たちに与えてくださいました。
- 1:3 私たちをご自身の栄光と栄誉によって召してくださった神を、私たちが知ったことにより、主イエスの、神としての御力は、いのちと敬虔をもたらずすべてのものを、私たちに与えました。

- ・したがって、神が必要なすべてのものを与えてくださるのですから、「**いっそう励みなさい。**」と促しておられます。神の「召し」と「選び」にあずかった私たちは、神に愛されたものです。なんとという幸いではありませんか。
- ・では、「召し」と「選び」を確かなものとするとは、どういうことでしょうか。それは神に全幅の信頼を寄せて、イエスとともに歩むことです。言葉は簡単です。しかし、これを文字通り受け止め、イエスとともに歩むことは容易ではありません。
- ・なぜでしょうか・・・？ 私たちの肉の内にある罪が妨害するからです。ですから日々、いつも神の前に身を置いて歩むことです。なぜなら、私たちは神に愛された子であるからです。

3) 熱心さが出発点でない人生

- ・ここで大切なことがあります。それは、信仰生活は私たちの熱心さではないことです。よく、私たちは他人の祈りや証し聞いて、自分と比較することがあります。あるいは、自分は教会のいろいろな行事には参加できないが、あの人は熱心であるかと思えます・・・。そして落ち込むのです。
- ・しかし皆さん。熱心さは信仰の出発点では、決してありません。少々元気であれば、人は自力で頑張りつづけることができます。それが、自分ではできる、大丈夫と思込ませてしまい、たましいの枯渇に気づかなくなってしまう危険があります。
- ・そして、自分と同じように行動しない人をさばくようになってしまいます。その人を傷つけてしまいます。私たちの歩みは、絶えず私たちを召し、私たちをお選びくださった主を見上げて、歩む人生であることを忘れてはなりません。ペテロはこう述べました。

1:10 これらのことを行っているなら、決してつまづくことはありません。

- ・逆をいうならば、このお方から目を逸らすならば、すぐにつまづいてしまう現実を言い表しています。私たちの歩みは、つまづきと背合わせであることを忘れてはいけません。つまづかないでいられる人は、きっとどこにもいないでしょう。
- ・でも感謝なことに、つまづかないための道は聖書の中にきちんと書かれています。私たちはつまづきを意識したとき、そこで一旦立ち止まることです。そして聖書のみ言葉が示す道を発見し、そこからスタートするのです。

2. 恵みが豊かに与えられる人生

1:11 このようにして、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの永

遠の御国に入る恵みを、豊かに与えられるのです。

- ・ペテロはここで、じつに幸いな言葉を送りました。それは「永遠の御国に入る恵み」です。人間的努力によるのではなく、ただ信仰によります。100%、神からの一方的な恵みによります。
- ・「永遠の御国に入る恵みを、豊かに与えられる」とは、いろいろな解釈があります。「確かに」神の国に入るものであるとか、神が御国への入国を「惜しみなく」備えておられるという意味です。またある聖書学者は、オリンピックの勝者を市民が歓喜に溢れて出迎えるように、神が信仰の勝利者たちを迎えてくださることを意味するとも述べています。
- ・私たちのゴールは明確です。私たちの進むべき道は、私たちを選んでくださり、私たちを召してくださったお方がおられる「永遠の御国」です。主は私たちキリストにある者を、最高の歓待をもって迎え入れてくださいます。
- ・今の世の中、私たちをつまづかせるものが満ち溢れています。また現実の歩みにおいて、息切れをしまいそうなことが多々あります。

1 ペテロ 5 章

5:8 身を慎み、目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、吼えたくる獅子のように、だれかを食い尽くそうと探し回っています。

- ・世界にある多くのキリストの教会は、多くの戦いの中に置かれています。悪の力は教会の外側から攻撃を加え、礼拝の自由を奪ってしまう国々は少なくありません。国際宣教団体「Open Doors」の発表では、世界で50か国以上の国々で迫害が起こっています。その内トップ10か国は、アジア・中東に位置しています。
- ・また悪の力は教会の内側で混迷を起こしています。互いの中で愛は覚め、批判、中傷などが飛び交い兄弟姉妹はつまづきを覚えています。悪魔が最も喜ぶ方法は、兄弟姉妹が争い不一致するところです。

- ・皆さん。これからは終わりの時代のしるしです。イエスは言われました。

24:12 不法がはびこるので、多くの人の愛が冷えます。マタイ

でも、大丈夫です。イエスは言われました。

14:1 「あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。」
ヨハネ

- ・イエス・キリストは、いつもともにおられるお方です。マタイ福音書

11:29 わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。マタイ

- 11:30 わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」マタイ
- どうぞ忘れないでください。私たちの主イエスは、私たちとくびきを共にしてくださるお方です。信仰の道、それは天の御国に至るまで保証された幸いな道です。

ヨハネの福音書

- 13:34 わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。
わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。
- ヨハネ

ま と め

主 題：「ますます豊かになろう！」

—永遠の御国へ—

- 私たちは神に「召され」、神に「選ばれた」尊い存在です。
混迷を深める社会で、人を信頼することがたやすすくない時代で、私たちはどのように生きるべきでしょうか。
 - ペテロは、その大切な生き方を示してくれました。
1. 「召し」、と「選び」を確かなものとして歩む
 2. 「永遠の御国」に入る恵みに生きる

* God bless you!